

#### 4 番（小川義昭君）

次に、ひとり暮らし高齢者の不安、高齢者の介護問題についてお尋ねします。

高齢社会白書によると、ひとり暮らしの単身高齢者は、他の世帯に比べると健康面や経済面での心配、悩み事を抱えるケースが多いようであります。例えば心配事があると答えた単身世帯は約7割を占め、そのうち自分の健康のことでは半数近くとなっております。

また、実際に高齢者のうち、要介護認定を受けている約450万人について、だれが介護をしているか調べると、介護者の約6割が同居家族となっており、親類などの別居家族や事業者はともに約1割に過ぎず、同居家族なくしては介護が成り立たないというのが実態であります。

しかし、こうした単身高齢者、あるいは夫婦のみなどの高齢者の方々は高齢化に伴う健康不安を抱え、地域の中で孤立を深めながら日々の生活を送っているのが現状であります。高齢者世帯における孤立感、不安感は私たちが想像する以上に大きなものがあるのではないかと考えられます。

そこで、3点目の質問であります。

本市における要支援、要介護の人たちは何人いるのか。またその世帯数の現状についてお伺いします。

さらに、要支援、要介護及び先ほどの質問に対して健康推進部長から御答弁いただきましたそれぞれの数値をどのように分析され、今後の本市における高齢者問題をお考えなのか、答弁をお願いいたします。